

予防接種のご案内 —B 型肝炎について—

もうすぐ夏休み！旅行シーズンの到来です。海外にお出かけになる方も多いのではないのでしょうか？健康面での準備はできていますか？**海外渡航前の準備としての予防接種**についてご案内します！

海外渡航のための健康管理は、常備薬の準備や保険の加入以外にも、予防接種や予防薬を準備することも重要です。渡航先や旅行のスタイル、今までの接種歴によって、必要な準備は異なります。**海外渡航が決まったら、健康管理について検討を始めましょう！**

参考になる HP 厚生労働省検疫所 <http://www.forth.go.jp/>
国立国際医療研究センター トラベルクリニック <http://www.travelclinic-ncgm.jp/>

ここでは、B 型肝炎の予防接種についてご案内します。

B 型肝炎はどうやって感染するの？

感染者の体液（汗、唾液、涙、血液、精液）との接触で感染します！



性交渉、不衛生な環境での医療、交通事故、ピアス、タトゥー等で感染します。

→性交渉で感染することが多いです。

海外では不十分な衛生環境の中での医療や、交通事故、性的な接触、感染者との体液の接触によって感染する可能性があります。感染者が多いのはアジアやアフリカ地域です。現在、日本では約 130～150 万人（100 人に 1 人くらい）が B 型肝炎ウイルスに感染していると推定されています。無症状の場合もあり、感染しているのに気付いていない人もいます。**B 型肝炎は HIV と比べると 50～100 倍の感染力です。**



B 型肝炎ウイルス感染者の分布の地図です。色が濃いほど感染者が多く、アジアとアフリカに感染者が多い傾向にあります。欧米と比較すると、日本の感染者数も少なくないことがわかります。（CDC HP より）

B型肝炎って怖い病気なの？

B型肝炎に感染すると、**発熱やだるさ、黄疸(皮膚が黄色くなる、白目がわかりやすい)、食欲不振、吐き気**などの症状が出ることがあります。しかし、**症状が出ない人もいます**。症状が出ない場合には、気がつかないうちにパートナーや周囲の人にうつしてしまうこともあります。

健康な成人であれば多くの人は治りますが、急性肝炎を発症し、重症化することや死亡する場合があります。治療しても治らないことがあり、その場合には肝硬変や肝臓がんに移行することもあります。



だるいし、気持ち悪いわ。白目が黄色いかしら…?
そういえば、おしっこの色もいつもと違うわ。
※無症状のまま経過する人もいます



海外渡航とB型肝炎はどうして関係あるの？

渡航先にもよりますが、日本人に人気の渡航先である東南アジアでは、日本と比べると医療環境が整っていない場合が多いです。さらに、バイク等の交通量が多く、車両の安全性も不確か、定員オーバーでもなんでも飛ばして運転します。それを踏まえると、事故の危険性もおのずと高くなるでしょう。また、海外旅行では開放的な気分になり、普段しないことの挑戦したり、時には羽目を外してしまったりすることもあります。体調を崩したり、ケガをしたり、病院に行く必要がある場面に遭遇することもしばしばです。しかし、**海外での輸血や適切に滅菌されていない医療機器の使用にはB型肝炎感染のリスク**があります。また、**コンドームを使用しない性交渉でも感染のリスク**があります。

つまり、B型肝炎感染の機会は多くあるのです。

B型肝炎以外にも、A型肝炎や狂犬病、腸チフス、破傷風など渡航目的によって接種した方が良い予防接種がいくつかあります。



B型肝炎にならないためにはどうしたら良いの？

B型肝炎には予防接種があります。予防接種はB型肝炎を予防する最も効果的な方法です！

日本ではあまり知られていませんが、海外では、ほとんどの人が乳幼児期に接種します。

集団生活を通して、**誰にでも感染の可能性**がある病気です。

この機会にぜひ検討されてはいかがでしょうか？



当院ではB型肝炎ワクチンの取り扱いがあります。しっかりと免疫を獲得するためには、**3回の接種**(初回、1か月後、6か月後)が必要です。一般的に**15~20年間効果が続く**と言われています。抗体価(免疫の強さ)が下がってきた場合は、追加接種を1回行うことで、再び免疫を高い状態で維持することができます。

当院での接種をご希望の場合には、事前に電話予約をお願いします。

B型肝炎ワクチンは1回6000円です。